

各 位

第 2 回「財政再建と就労支援」徹底討論会 開催のご案内

日頃より、様々な課題があって困っている府民に寄り添い、時には励ましながら、就労支援に取り組んでいる皆様方のご活躍に、敬意を表します。

皆さんもご存知のように、大阪府は6月「大阪維新プログラム」(以下「プログラム」という)を発表。その中で「財政再建プログラム試案」でも打ち出されていましたように、就職困難層を対象とした就労支援に取り組む「地域就労支援事業」が、今年8月で廃止という方向が打ち出されています。

私たちは、5月12日に「財政再建と就労支援」徹底討論会を開催。その中で、地域就労支援事業の必要性を訴えるだけでなく、施策そのものの効果をあげていく必要性・重要性についても意見を出し合いました。そして「財政再建」と「就労支援」が対立するものではないことを確かめ合ったところです。

「プログラム」が発表された一方で、地域就労支援事業の財源も活用した「総合相談」の交付金化という方向性も出されてきています。

私たちは、様々な社会矛盾や課題が集中している「就職困難層の人たち」が自らの力で働き続けていくことができるまでに、しっかりと寄り添い、きめ細かな支援が必要と考えています。その手だての核となっているのが「地域就労支援事業」です。

したがって、地域就労支援事業を廃止し「相談事業の交付金化」のままでは、単なる「就労支援」から「就労相談」への格下げされたものと指摘することができるのです。

第2回目の徹底討論会では、各地域で自立就労支援に取り組んでいる皆さんからの実践事例報告等に学ぶとともに、あらためて、今、求められている施策は何なのか。その中で地域就労支援事業が果たしてきた役割と目的を問い直していきたいと考えます。

つきましては、皆様方から真摯な意見等を出し合っていただき、今後の方向性等について考察していきましょう。

皆様方の積極的なご参加をお願いいたします。

記

第2回「財政再建と就労支援」徹底討論会

と き 2008年 7月 14日(月)午後6時30分～

と ころ 大阪府職員会館 4階 多目的ホール

2008年6月30日

「財政再建と就労支援」徹底討論会

開催呼びかけ人

藤本 武

(柏原市地域就労支援センター)

富田 一幸

(大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合理事長)

山中 辰也

(特定非営利法人おおさか若者就労支援機構代表理事)

■ プログラム

○ 開会あいさつ

○ 集会基調(案)

山中 辰也(NPO法人おおさか若者就労支援機構)

○ リレートーク

藤本 武さん(柏原市地域就労支援センター)

太田 光昭さん(NPO法人おおさか若者就労支援機構)

沖野 充彦さん(NPO法人釜ヶ崎支援機構)

谷元 達夫さん(財団法人大阪府人権協会)

○ 質疑・討論

○ まとめ

高見 一夫さん(ワーク21企画 代表)